

農 研 速 報

2024年8月1日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(7月25日現在、龍ヶ崎市)

地域名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問題点	備考
	本年	対平年遅速			
茨城県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 第5本葉 展開期 納豆小粒 第5本葉 展開期	(※かなり遅い) (※かなり遅い)	<p>龍ヶ崎市における7月第2半旬～7月第5半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気温:平均気温はかなり高かった(平年差+2.4℃、図1)。 降水量:平年比50%とやや少なかった(図2)。 日照時間:平年比127%と平年並であった(図3)。</p> <p>【生育】 7月25日調査時点での地上部の生育は、「里のほほえみ」、「納豆小粒」は平年を下回った。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p>里のほほえみ:主茎長はかなり短く、主茎節数はかなり少なく、分枝数は少なく、茎の太さは細く、地上部生体重は軽かった 納豆小粒:主茎長はかなり短く、主茎節数はかなり少なく、分枝数はやや少なく、茎の太さはやや細く、地上部生体重はやや軽かった。</p> <p>【注釈】 ※降雨の影響により播種期は平年より14日遅い</p> <p>写真1に7月25日時点の所内大豆の生育状況を示した。</p>	なし	<p>●中耕・培土●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、1回目は第4本葉展開期に子葉節まで、2回目は第7本葉展開期に初生葉節まで実施する。本年は、1回目を第4本葉展開期の7月23日に実施した。 ○紫斑病、葉焼病、莢害虫等の発生に注意し、適期防除に努める。 ○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため、必要な場合は灌水を行う。 ○病害虫の発生予察については、病害虫防除部のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)

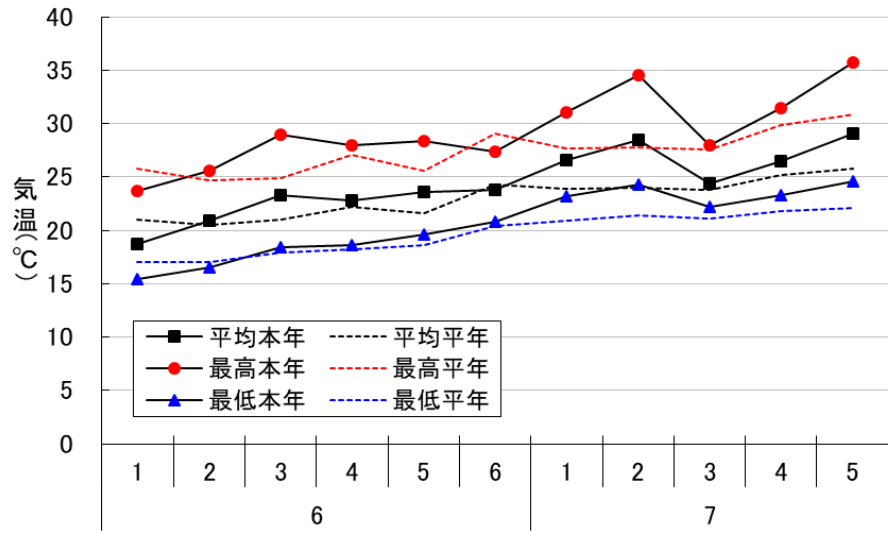


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

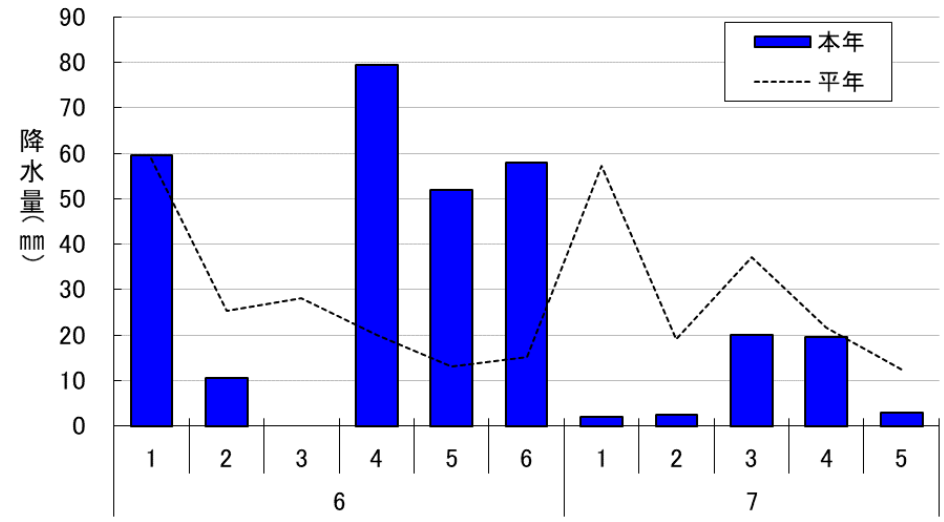


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

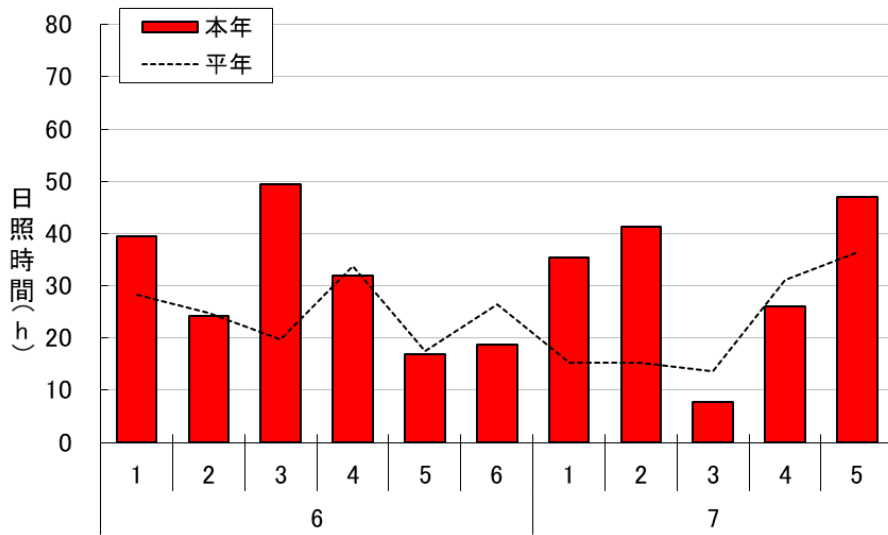


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	15	37	40	6.1	56	60	0.0	0	0	4.5	50	54	8.8	13	16
納豆小粒	12	30	39	6.7	54	64	0.0	0	0	3.9	53	65	7.5	11	20

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作麦）
- 2) 播種期：7月3日
- 3) 播種密度：11.1株/m²（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 4) 基肥：N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月23日（子葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は7月25日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

令和1年～令和5年播種の5ヵ年の平均値



写真1 所内大豆の生育状況（7月25日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒）

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

